



学校だより 10月 第382号

令和4年9月30日 発行

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>

「探究的な学びと子どもの成長」

学校長

「群馬県には『上毛かるた』という郷土かるたがあります。群馬県民ならば誰もが知っているほど広く認知されているのですよ。各地で大人や子どもの大会が開かれていて、この2年間、コロナの影響でできなかったものの今年3年ぶりに復活したのです！」

6年生のクラスでの総合的な学習の時間『地域のよさを再発見！オリジナル六つ川かるたを作ろう！～分かる！つながる！広がる！』にあわせたその日、群馬県からいらした原口美貴子先生は、校長室で嬉しそうに、そう語ってくださいました。

教室で子どもたちが学んでいるのは、六つ川のまちを伝える『郷土かるた』です。

子どもたちは、原口先生にかるたづくりのアドバイスを直接聞いたり、友だちが原口先生から頂いたアドバイスを共有したりしながら熱心に取り組んでいました。

原口先生の話聞いて、一番心に残ったことは？と、問う教師の質問に、「かるたの札からは、人が出てくる！目的をもって、それをどうしたいのか、そこまで考えるのがかるたなんだ。」と答える児童がいました。

その児童は、「みんなで協力することの大切さ」に改めて気づき、これからの創作活動へのめあてをタブレット端末のロイロノートに丁寧に記載していました。

「かるたには、人間の五感のうち4つの要素（視・聴・嗅・触）が含まれていて、記憶力・瞬発力・協力などの力も同時に身につけることができる。」と答えていた児童は、「相手が分からないことだからかるたを作っても地域のいいところは伝わらない。だから、これからは、自分で実際にやりながらアドバイスをもらい、より良いものに改善していきたい。」と、自らの学び方を振り返り、今後の意欲に結び付けていました。

総合的な学習の時間には、決められた教科書がありません。子どもたちは、地域の人や専門家など多様な立場や年齢の人との関わりなどを通して学んでいきます。

「探究的な学び」を通した人との関わりの中で、人から期待されることの喜びや人と協力することの素晴らしさを実感し、自分も地域社会に役立っていることを少しずつ感じていくようになるのだと思います。

一方、総合的な学習に取り組む教師は、自らの足で教材を開発し、自らの手と頭で指導計画を作成し、授業を生み出していきます。

クラスごとに異なる「総合的な学習の時間」の題材を通して、子どもも教師も社会や人と多く関わり共に成長していくのです。



【六つ西 かがやき ☆ レンジャーズ 申込みについて】

10月からレンジャーズの活動を始動いたします。子どもたちを「地域のたから」として育てていくために、ぜひ多くの地域の皆様、保護者の皆様にご協力いただきたいと思います。参加できる時間や時期に合わせて、少しでもお力をお貸しください。

レンジャーズのメンバーは随時募集しておりますので、活動に関心のある方はぜひ右のQRコードを読み取って必要事項を送信してください。活動についての説明や申込に必要な手続きについて、こちらから連絡させていただきます



→ <https://forms.gle/nAzP3iXnSTQ4JVeu5>